

# 地域別実行計画

## -大沢野地域-

富山市

# 大沢野地域全体図





---

## 目 次

---

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに .....                  | 1  |
| (1) 計画の位置付け .....              | 1  |
| (2) 計画の策定の方法 .....             | 3  |
| 2. 地域特性 .....                  | 4  |
| (1) 地形的特徴 .....                | 4  |
| (2) 人口 .....                   | 5  |
| (3) 文化・歴史 .....                | 6  |
| (4) 交通 .....                   | 7  |
| (5) まちづくり .....                | 8  |
| (6) 民間施設の立地状況 .....            | 11 |
| 3. 公共施設 .....                  | 12 |
| (1) 現況 .....                   | 12 |
| (2) 課題 .....                   | 16 |
| (3) 課題の解決策 .....               | 19 |
| 4. 公共施設の再編方針 .....             | 21 |
| (1) 拠点となる施設等 .....             | 21 |
| (2) 公共施設の再編方針 .....            | 21 |
| 5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針 ..... | 24 |
| (1) 基本方針 .....                 | 24 |
| (2) 整備方針 .....                 | 25 |
| 6. おわりに .....                  | 27 |



# 1. はじめに

## (1) 計画の位置付け

富山市は、公共施設等の管理を計画的に行い、限られた財源の中で将来にわたって適切な維持管理を行うため、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。公共施設等の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことを目的として平成 28 年度に「富山市公共施設等総合管理計画（以下、総合管理計画）」を策定しました。この計画をより進めるため、平成 29 年度には「富山市公共施設マネジメントアクションプラン 戦略編・実行編（以下、アクションプラン）」を策定し、今後の公共施設等の具体的な見直しの方向性を示しつつ、公共施設等の再編を目指しています。

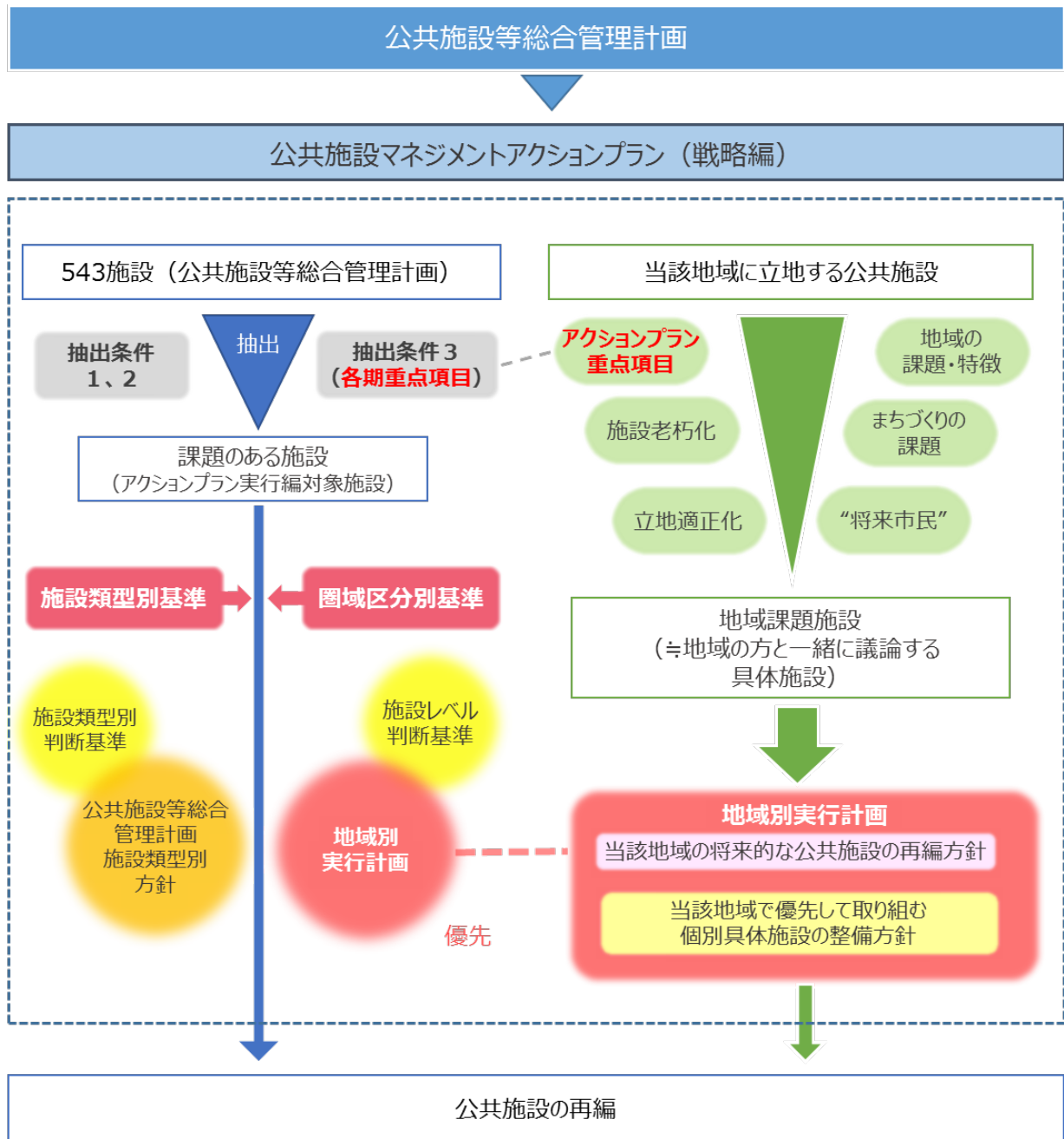
公共施設等の再編は具体的には、以下の 2 種類の方法で実施していきます。

- ① アクションプランで定める「課題のある施設」について、「施設類型別基準」及び「圏域区分別基準」に従い、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。
- ② 地域ごとに立地する施設を対象として、各地域のまちづくりと公共施設等の課題に即して、それらを解決するための将来的な施設整備の方向性の検討、及び特に優先して取り組んでいくべき具体的な施設について、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。

「地域別実行計画（以下、本計画）」は、②の地域ごとの施設整備の方向性検討、優先して取り組んでいくべき施設の整備手法を定めるものです。

本計画は、地域の状況を踏まえた、公共施設等の再編を具体的に進めていくために定める方針であり、地域の課題解決に資するものです。富山市都市マスタープランにより定めた富山市内の 14 地域ごとに本計画を策定し、公共施設等の再編に活用していきます。

図表 1 公共施設等の見直し検討プロセス



## (2) 計画の策定の方法

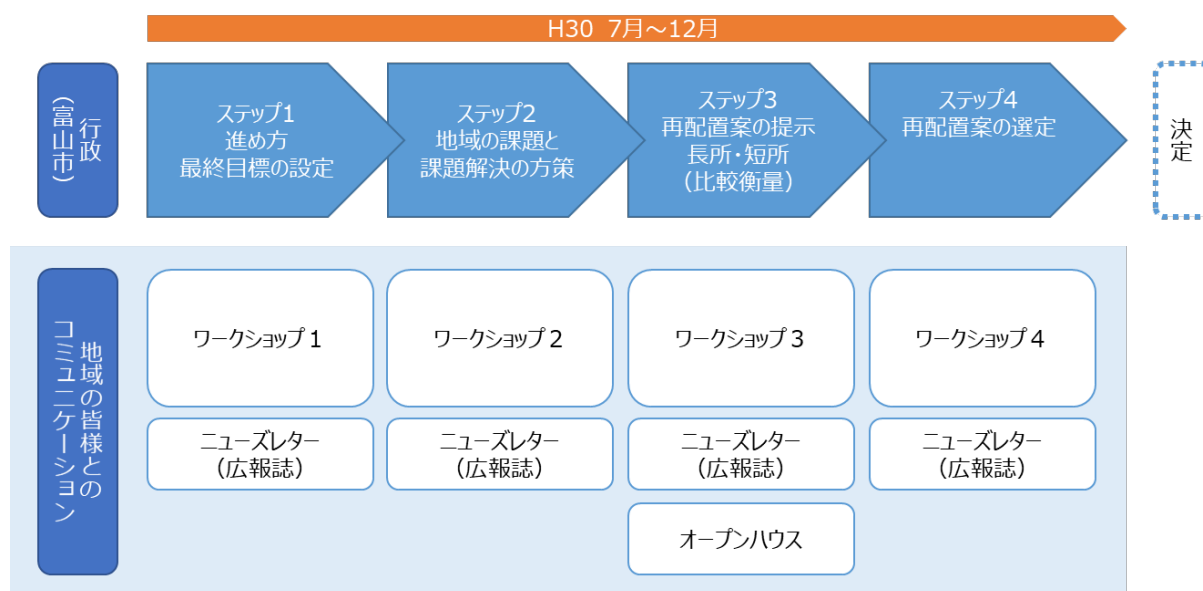
本計画における、公共施設の整備の方向性は、原則として総合管理計画において定めた施設類型別方針と、アクションプランにおいて定めた施設類型別判断基準と整合を図りつつ検討していきます。

また、地域の課題、まちづくりの課題の抽出にあたっては、富山市都市マスタープランや富山市立地適正化計画等の既存計画を踏まえて行っていきます。

地域の実情をきめ細やかに把握していくため、また、将来を見据えたまちづくりや施設整備のあり方について、地域にお住まいの方々の思いと合致させていくことが必要不可欠と考え、市民の参加による計画づくりを行いました。大沢野地域の29名の方々に参加いただき、ワークショップを4回開催して活発な議論をいただきながら検討を重ねました。

また、大沢野地域のより多くの方々からご意見をいただくために、ニュースレター(広報誌)を地域内の全戸に配布したほか、計画案をパネル展示してご意見をいただくオープンハウスを開催しました。

図表 2 地域の皆さんの参加による計画づくり





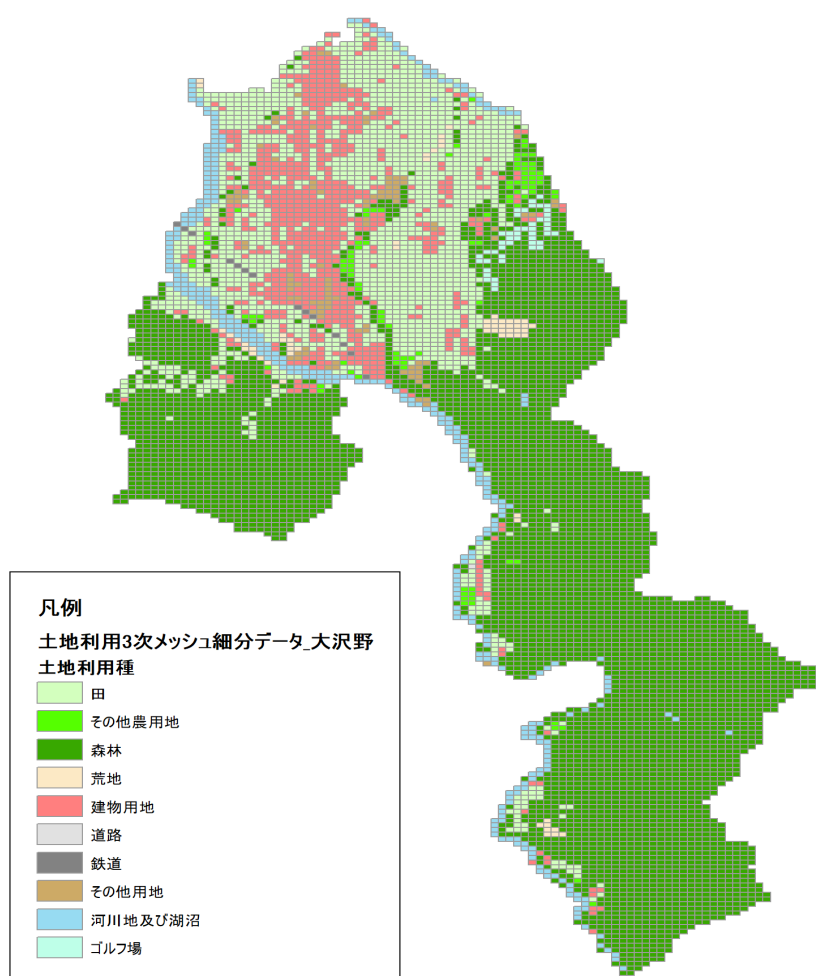
## 2. 地域特性

### (1) 地形的特徴

大沢野地域は富山市の南に位置し、市内の他の地域では富山南部地域、八尾地域、細入地域、大山地域、他自治体では岐阜県飛騨市と隣接しています。面積は約 75 km<sup>2</sup>で、富山市の面積の約 6%を占めています。地形的な特徴としては、南部は標高 300～1,000mの山地となっており、一方で地域の北部は段丘となり、富山平野へと続いています。神通川に沿って、北から南に向かいまるで頭が大きく尻尾が細長い「たつのおとしご」のような形で大きく伸びています。

土地利用をみると、森林が約 6 割、田が約 2 割、建物用地が約 1 割を占めています。北部には建物用地が密集して市街地が広がり、南部は森林など自然豊かな地域が広がっていることが分かります。

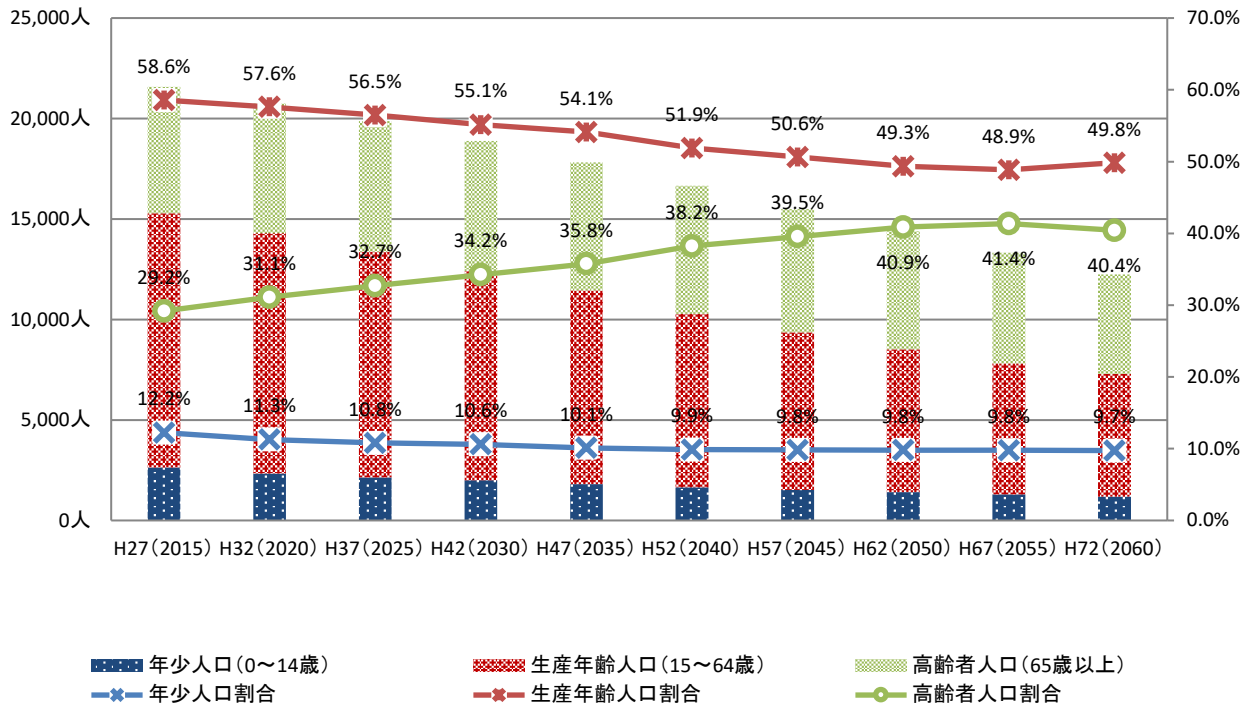
図表 3 大沢野地域の土地利用



## (2) 人口

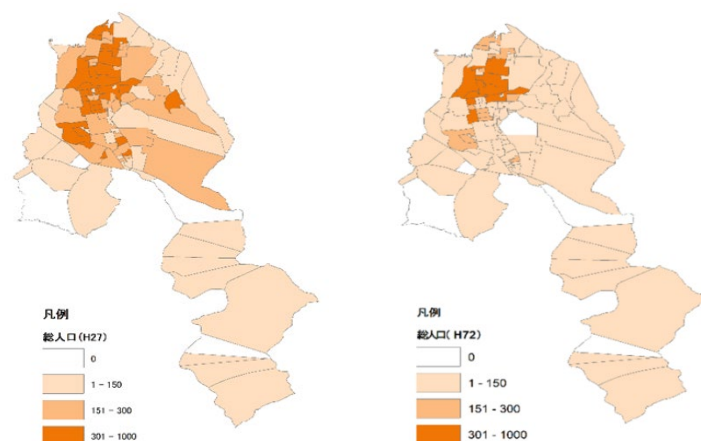
大沢野地域の人口は、2015年（平成27年）の時点では21,582人となっていました。2060年（平成72年）までに約4割減少し、12,000人程度になると予測されます。人口区分別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のすべての区分で大きく減少し、特に年少人口と生産年齢人口は、2060年には2015年時点の半数以下になると予測されます。

図表4 大沢野地域の人口推計



町丁目別の人口分布をみると、広い範囲に人口が分布しており、大沢野地域の北部や国道41号沿いに人口が集中していることがわかります。今後の人口分布は、大久保地区の南部と大沢野地区の北部に集中し、その他の地域では減少、もしくは現状維持となることがわかります。

図表5 大沢野地域の人口分布比較（平成27年と平成72年）



### (3) 文化・歴史

大沢野地域には猿倉山や神通川などがあり、自然の豊かな地域です。アクセスが高く、国道 41 号を利用して富山市中心部に行きやすい場所に位置しています。国道 41 号を南へ向かうと細入地域・岐阜県飛騨市に向かうことができ、古くから文化交流が盛んでした。また、利根川進氏、梶田隆章氏といったノーベル賞受賞者ともゆかりの深い地域です。

図表 6 大沢野地域の自然



神通峡

#### 1) 飛騨地方との往来

大沢野地域は、古くから飛騨地方との往来が盛んで、神通川の渓谷沿いに走る飛騨街道は、富山と高山を結ぶ物資輸送の動脈であり、江戸時代を通じて、米・魚・塩、その他にも菅笠・昆布などが高山方面に持ち込まれ、逆に高山方面からは煙草・茶・漆・蠟などがもたらされていました。

#### 2) ノーベル賞受賞者とのゆかり

国道 41 号沿線は 5 名ものノーベル賞受賞者とゆかりがあり、「ノーベル街道」として知られています。このうち 1987 年に医学生理学賞を受賞した利根川進氏は、主に小学校時代を旧大沢野町で過ごされました。また、2015 年に物理学賞を受賞した梶田隆章氏は、カミオカンデの研究を機に、1995 年から旧大沢野町に移り住まれています。

大沢野生涯学習センターでは利根川進コーナーを設置し、博士が旧大沢野町で過ごされた小学 1 年から中学 1 年までの通知表、写真、ノーベル賞メダルのレプリカなどを展示しています。

図表 7 大沢野地域のノーベル賞受賞者とのゆかり



利根川進コーナー



国道 41 号

### 3) 地域の祭り・イベント

大沢野地域の各地区で特色のある祭りやイベントが開催されています。

#### ①猿倉山のイベント（猿倉山フェスティバル・大沢野花火大会）

猿倉山は登山だけでなく、キャンプ場やバーベキューハウス、芝生広場などがあり、住民の憩いの場となっています。5月には猿倉山フェスティバルが開催され、飲食・物販の提供、ステージ発表やショーなども開催されます。また、毎年8月に開催される大沢野花火大会も多くの人でにぎわいます。

#### ②大沢野駅伝競走大会

大沢野地域はスポーツ活動も盛んで、11月には大沢野駅伝競走大会が開催されます。大沢野地区、大久保地区、船峠地区と、大沢野地域の北半分を一周するコースで、例年40チーム程が参加しています。昭和34年に第1回が開催されてから、平成30年で第55回を数え、大沢野地域の伝統的な一大スポーツイベントとなっています。

図表 8 大沢野地域の祭り・イベント



猿倉山フェスティバル



大沢野駅伝競走大会

### (4) 交通

大沢野地域には、JR 高山線の笹津駅が立地しており、周辺には駅前商店街等が形成されています。笹津駅の運行本数は11本/日（平日）で、136人/日の乗降客数があります。

また、国道41号を中心として路線バスが充実しており、富山地方鉄道バスが11系統運行しています。

この他、大沢野地域の高齢者のうち交通移動が不便な方を対象に、大沢野地域内限定で、有料で送迎する乗り合いタクシー（大沢野シルバータクシー）を運行しています。

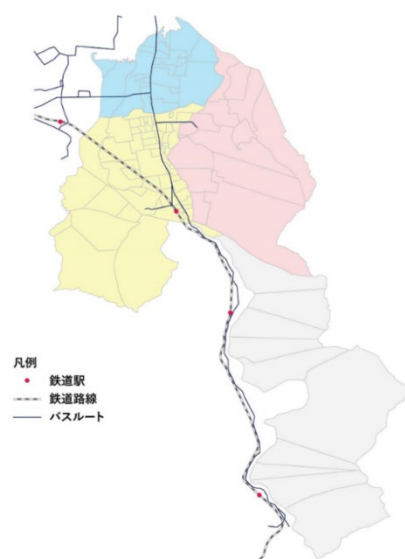
図表 9 鉄道運行状況（平成 31 年 3 月現在）

| 駅   | 乗降客数    | 運行本数（平日）    | 運行本数（ピーク） |
|-----|---------|-------------|-----------|
| 笹津駅 | 136 人/日 | 11 本（富山駅方面） | 2 本/時     |

図表 10 バス運行状況（平成 31 年 3 月現在）

| 路線<br>バス             | 系統             | 運行本数<br>（平日） |
|----------------------|----------------|--------------|
| 富山<br>地方<br>鉄道<br>バス | 国際大付属高校・大沢野ルート | 3 本          |
|                      | 国際大付属高校・南富山ルート | 3 本          |
|                      | 国際大付属高校・東富山ルート | 3 本          |
|                      | 国際大付属高校・高岡ルート  | 3 本          |
|                      | 国際大付属高校・杉原ルート  | 3 本          |
|                      | 国際大付属高校・八尾ルート  | 3 本          |
|                      | 赤十字病院～笹津       | 16 本         |
|                      | 赤十字病院～笹津春日温泉   | 6 本          |
|                      | 赤十字病院～猪谷       | 4 本          |
|                      | 笹津（若竹町経由）      | 2 本          |
|                      | 赤十字病院～坂本二区     | 1 本          |

図表 11 大沢野地域の公共交通路



## （5）まちづくり

富山市では今後の少子高齢化、人口減少などの時代変化に対応するため、平成 20 年 3 月に「富山市都市マスタープラン」を策定し、公共交通を軸とした拠点集中型（お団子と串）のコンパクトなまちづくりを進めています。

富山市都市マスタープランでは、大沢野地域のうち、大沢野行政サービスセンター及び笹津駅周辺を地域生活拠点として位置付けています<sup>1</sup>。また、大沢野総合運動公園周辺はみどりの拠点、大沢野健康福祉センター周辺は健康福祉拠点、猿倉山森林公園周辺は自然とのふれあいの場として位置付けられています。その他、神通峡県定公園は森林を活かしたレクリエーション拠点として広範囲が指定されています。

「富山市立地適正化計画」は、富山市都市マスタープランで定めたまちづくりの方針に従い、市町村が都市全体の観点から作成する、居住機能や福祉・医療・商業などの都市機能の立地、公共機能の充実等に関する包括的なマスタープランで、平成 29 年 3 月に策定されました。

<sup>1</sup> 富山市立地適正化計画では、地域生活拠点には、日常生活に必要な商業等の諸機能の集積を図ることとしています。



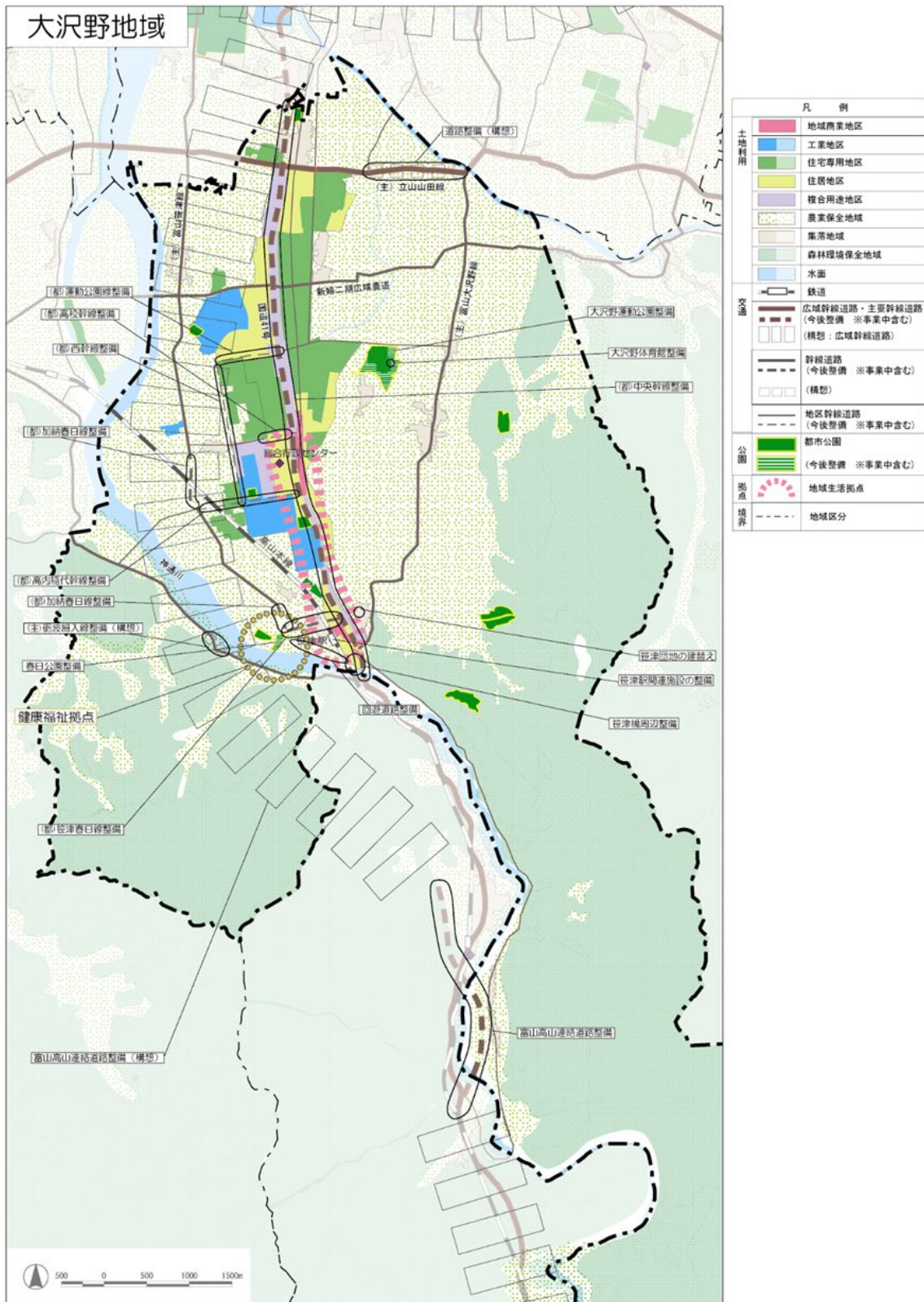
立地適正化計画では、駅やバス停の徒歩圏に「居住を誘導するエリア（居住誘導区域）」と「都市機能を誘導するエリア（都市機能誘導区域）」を定めてコンパクトなまちづくりを進めることとしており、大沢野地域では運行頻度の高いバス路線である国道41号沿いで、用途地域が設定されたバス停から半径300mの範囲や、笹津駅から半径500m内の用途地域が設定されている範囲を、居住誘導区域及び都市機能誘導区域として定めています。

図表 12 大沢野地域の土地利用方針

|        |  |
|--------|--|
| 商業系    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活拠点である笹津駅周辺及び総合行政センター周辺は、地域商業地区として位置付けます。笹津駅周辺の駅前商店街を中心とする地区では、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業等の集積を促進します。総合行政センター周辺では、公共公益施設の充実を図ります。</li> </ul>   |
| 産業系    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中大久保地区や高内地区等の既存工業地等は、国道41号へのアクセス性を活かした工業地区として位置付け、新産業や地場産業の育成を図ります。また、新たな立地需要に対応して、適地の確保を図ります。</li> </ul>  |
| 住宅系    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）中央幹線（国道41号）背後の市街地は、戸建住宅を中心とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。</li> <li>・地域商業地区や工業地区周辺等の住宅地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。</li> <li>・（都）中央幹線（国道41号）沿道や工業地区周辺は、複合用途地区として位置付け、沿道施設やサービス機能等と調和した住宅地として形成します。</li> <li>・公共交通沿線居住の推進地区である笹津駅周辺や（都）中央幹線（国道41号）のバス路線沿線では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。</li> </ul> |
| 農業・自然系 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地の東側と西側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いのな農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。</li> <li>・船畷、春日、塩等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。</li> <li>・地域の南部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。</li> </ul>   |

出典：富山市都市マスタープラン（平成20年3月策定時点）

図表 13 大沢野地域のまちづくり方針図



出典：富山市都市マスタープラン（平成 20 年 3 月策定時点）

図表 14 大沢野地域の居住誘導区域・都市機能誘導区域



## (6) 民間施設の立地状況

民間施設の立地状況を見ると、日常生活に必要な機能である医療施設（病院・診療所）、商業施設（食料品店・コンビニエンスストア）などが多く立地しています。その多くは居住誘導区域内に立地しています。

図表 15 大沢野地域の民間施設立地状況





### 3. 公共施設

#### (1) 現況

##### 1) 地域の公共施設一覧

大沢野地域に公共施設が 45 施設立地しており、その総延床面積は、約 9.6 万㎡、人口 1 人あたりの延床面積は約 4.4 ㎡です。

図表 16 大沢野地域の公共施設一覧

| No. | 施設分類     | 施設名           | 延床面積<br>(㎡) | 築年数 <sup>2</sup><br>(年) | 利用状況<br>(平成 28 年度) |
|-----|----------|---------------|-------------|-------------------------|--------------------|
| 1   | 集会施設     | 大沢野公民館        | 107.25      | 29                      | 3.6% (稼働率)         |
| 2   | 集会施設     | 大久保公民館        | 168.20      | 16                      | 5.2% (稼働率)         |
| 3   | 集会施設     | 船峠公民館         | 331.20      | 43                      | 3.9% (稼働率)         |
| 4   | 集会施設     | 小羽公民館         | 331.20      | 42                      | 2.3% (稼働率)         |
| 5   | 集会施設     | 下夕北部公民館       | 331.20      | 41                      | 4.7% (稼働率)         |
| 6   | 集会施設     | 下夕南部公民館       | 397.20      | 40                      | 4.3% (稼働率)         |
| 7   | 集会施設     | 船峠地区福祉センター    | 296.60      | 23                      | 1.7% (稼働率)         |
| 8   | 集会施設     | 小羽地区福祉センター    | 217.63      | 22                      | 3.7% (稼働率)         |
| 9   | 集会施設     | 下夕南部地区福祉センター  | 157.90      | 21                      | 2.1% (稼働率)         |
| 10  | 集会施設     | 下夕北部地区福祉センター  | 216.22      | 20                      | 4.2% (稼働率)         |
| 11  | 集会施設     | 大沢野北部地区福祉センター | 171.78      | 15                      | 6.3% (稼働率)         |
| 12  | 文化施設     | 大沢野文化会館       | 6,724.80    | 39                      | -                  |
| 13  | 文化施設     | 大久保ふれあいセンター   | 2,213.78    | 16                      | 25.9% (稼働率)        |
| 14  | 図書館      | 大沢野図書館        | 1,042.00    | 29                      | 42,213 人 (利用人数)    |
| 15  | 社会教育センター | 大沢野生涯学習センター   | 3,517.53    | 29                      | 26,082 人 (利用人数)    |
| 16  | スポーツ施設   | 青少年体育センター     | 973.00      | 45                      | 9,385 人 (利用人数)     |
| 17  | スポーツ施設   | 下夕南部体育館       | 384.00      | 37                      | 1,119 人 (利用人数)     |
| 18  | スポーツ施設   | 下夕北部体育館       | 483.55      | 36                      | 277 人 (利用人数)       |
| 19  | スポーツ施設   | 屋内競技場         | 8,278.98    | 8                       | 91,824 人 (利用人数)    |
| 20  | スポーツ施設   | 大沢野プール管理棟     | 218.40      | 26                      | -                  |
| 21  | スポーツ施設   | 大沢野武道館        | 468.00      | 43                      | 4,004 人 (利用人数)     |
| 22  | スポーツ施設   | 大沢野野球場管理棟     | 220.00      | 25                      | 9,115 人 (利用人数)     |

<sup>2</sup> 平成 30 年度時点の築年数。

| No. | 施設分類              | 施設名           | 延床面積<br>(㎡) | 築年数 <sup>2</sup><br>(年) | 利用状況<br>(平成 28 年度) |
|-----|-------------------|---------------|-------------|-------------------------|--------------------|
| 23  | スポーツ施設            | 陸上競技場管理棟      | 752.00      | 32                      | 12,564 人 (利用人数)    |
| 24  | レクリエーション・<br>観光施設 | 猿倉山森林公園       | 816.05      | 32                      | 15,652 人 (利用人数)    |
| 25  | レクリエーション・<br>観光施設 | 大沢野健康福祉センター   | 8,383.61    | 22                      | 313,754 人 (利用人数)   |
| 26  | 学校                | 大沢野小学校        | 11,835.78   | 20                      | 537 人 (生徒数)        |
| 27  | 学校                | 大久保小学校        | 6,585.11    | 61                      | 429 人 (生徒数)        |
| 28  | 学校                | 船峠小学校         | 4,174.16    | 29                      | 66 人 (生徒数)         |
| 29  | 学校                | 大沢野中学校        | 10,876.51   | 37                      | 601 人 (生徒数)        |
| 30  | 幼保・こども園           | 笹津保育所         | 830.18      | 48                      | 26 人 (児童数)         |
| 31  | 幼保・こども園           | 大沢野西部保育所      | 677.23      | 41                      | 80 人 (児童数)         |
| 32  | 幼保・こども園           | 船峠保育所         | 679.80      | 39                      | 37 人 (児童数)         |
| 33  | 幼保・こども園           | 大久保保育所        | 1,292.99    | 18                      | 166 人 (児童数)        |
| 34  | 幼保・こども園           | 大沢野幼稚園        | 980.28      | 42                      | 52 人 (園児数)         |
| 35  | 幼保・こども園           | 大久保幼稚園        | 1,432.09    | 15                      | 52 人 (園児数)         |
| 36  | 幼児・児童施設           | 大沢野児童館        | 869.54      | 12                      | 37,275 人 (利用人数)    |
| 37  | 幼児・児童施設           | 大久保児童館        | 739.88      | 16                      | 53,102 人 (利用人数)    |
| 38  | 高齢者福祉施設           | 大沢野老人福祉センター   | 619.71      | 22                      | 45,961 人 (利用人数)    |
| 39  | 高齢者福祉施設           | 大沢野高齢者いきがい工房  | 721.04      | 17                      | 7,401 人 (利用人数)     |
| 40  | 庁舎等               | 大沢野行政サービスセンター | 4,450.88    | 45                      | -                  |
| 41  | 消防施設              | 大沢野消防署        | 1,194.55    | 41                      | -                  |
| 42  | その他行政系施設          | 大沢野斎場         | 772.91      | 33                      | -                  |
| 43  | 公営住宅              | 笹津団地 (市営住宅)   | 9,401.64    | 19                      | -                  |
| 44  | 公営住宅              | 稲代団地 (賃貸住宅)   | 382.46      | 30                      | -                  |
| 45  | その他               | 大沢野地区産業会館倉庫   | 192.15      | 49                      | -                  |

## 2) 各施設の配置

大沢野地域の公共施設は、公共交通軸である国道 41 号の周囲に多く整備されています。特に、大沢野行政サービスセンター周辺には、集会施設、文化施設、図書館、スポーツ施設、幼保・こども園、幼児・児童施設などの機能が集積しています。

図表 17 大沢野地域の施設配置図

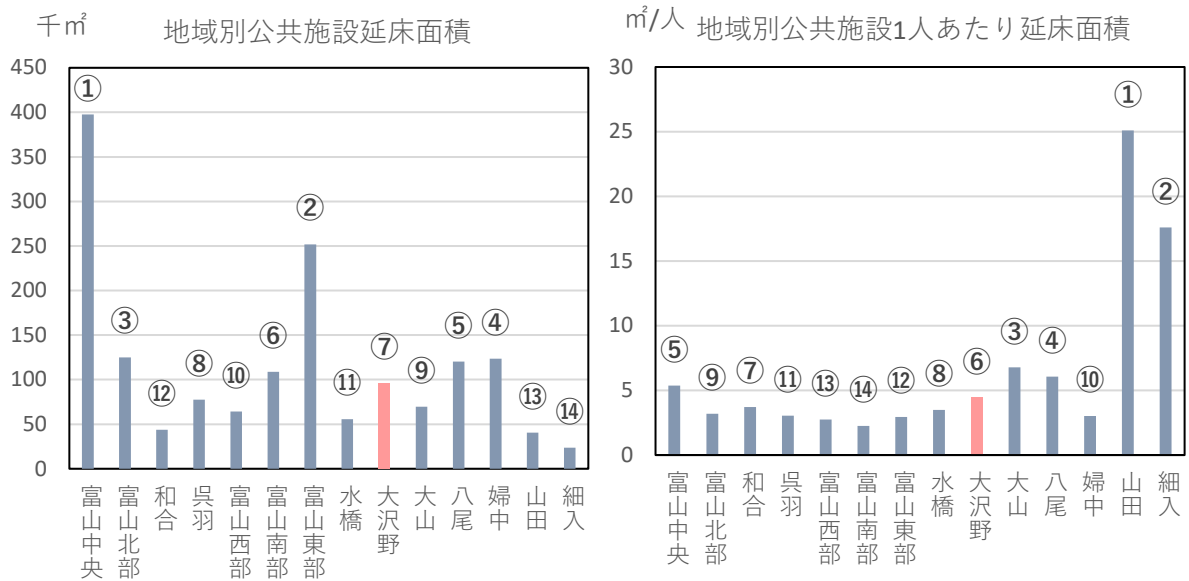


(C) OpenStreetMap contributors

### 3) 公共施設の状況

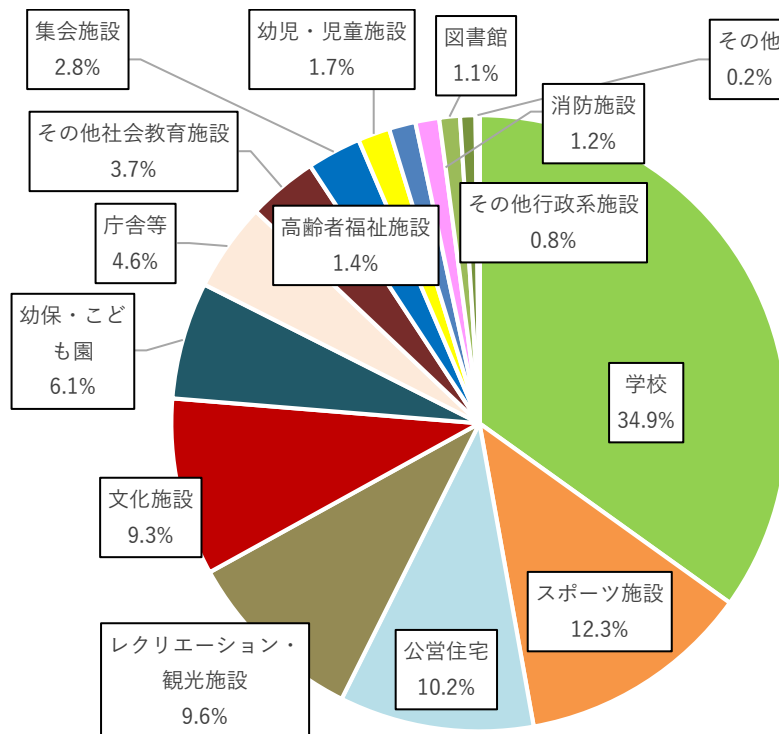
- ①公共施設の保有量について、延床面積を指標としてみると、大沢野地域は 14 地域中 7 番目となっています。人口 1 人あたりの延床面積をみると、14 地域中 6 番目になっています。公共施設の保有量、人口 1 人あたりの延床面積ともに、14 地域の中では中間層であることがわかります。

図表 18 地域別公共施設延床面積と1人あたりの延床面積



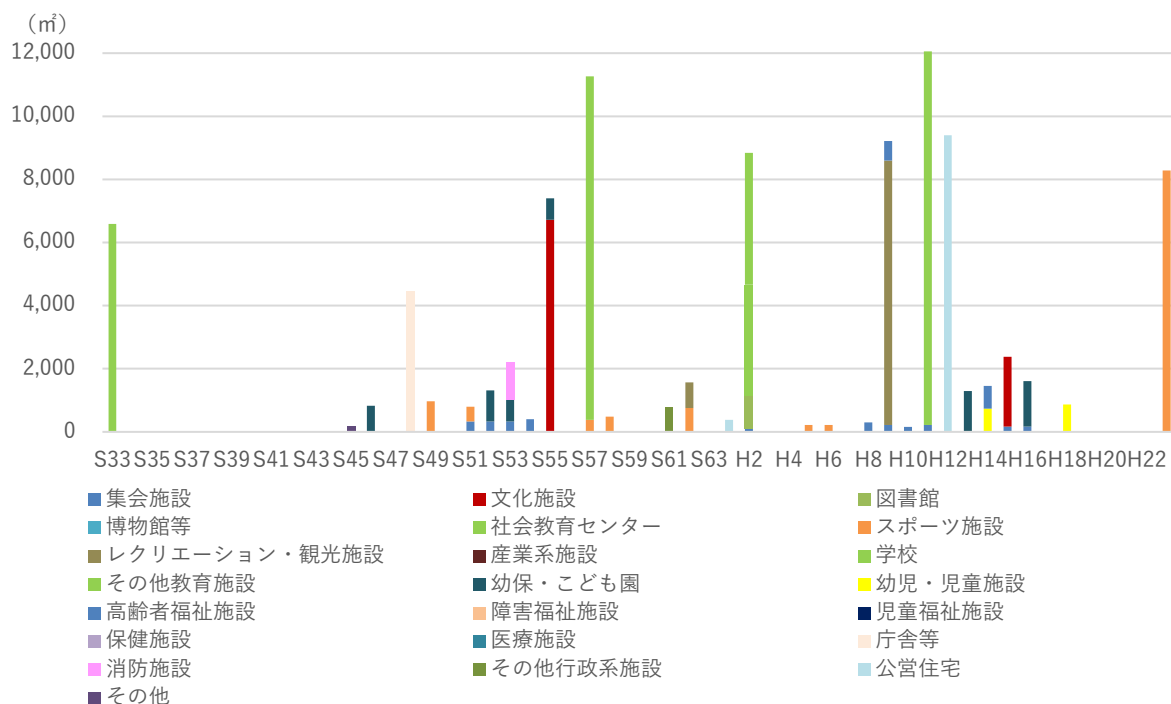
②大沢野地域の公共施設の内訳をみると、学校が最も大きく約 35%、スポーツ施設が約 12%、公営住宅が約 10%、レクリエーション・観光施設が約 10%と高い割合になっています。

図表 19 大沢野地域の公共施設内訳 (延床面積)



③公共施設の整備年別延床面積をみると、昭和 55 年前後と平成 11 年前後に多く整備されていることが分かります。この時期は、学校施設や文化施設、公営住宅などの規模の大きい施設が建設されたタイミングです。昭和 55 年頃に建設された施設は現在、築 30～40 年経過していることから、老朽化が進み、改修や建替え、修繕が必要になることが予想されます。また、平成 11 年頃に作られた施設も、現在築 20 年程度経過しており、徐々に施設の修繕等が必要になることが予想されます。

図表 20 大沢野地域の公共施設の整備年別延床面積



## (2) 課題

大沢野地域の総人口は減少傾向であり、今後も減少が続くと予測されます。年齢区分別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のいずれの区分においても大きく減少し、特に年少人口と生産年齢人口の減少率が高くなっています。

また、国道 41 号沿いは運行頻度の高い路線バスが整備されていますが、人口の分布や公共施設の配置状況をみると、現在の公共施設は公共交通によって誰でもアクセスしやすい配置となっているとは言えません。

公共施設に目を向けると、利用率が低い施設が多くみられます。一方で、近接する細入地域等にも類似の機能を持つ施設があるなど、公共施設の配置を見た時に、効率化が図られていない状況もあります。

公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、更新費用が必要になりますが、人口の減少や高齢化の進展により財源の確保が一層難しくなると考えられます。

図表 21 公共施設に関する地域の皆様のご意見等

| 施設分類          | ご意見   |
|---------------|---|
| 集会施設          | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集会施設は避難所としても利用されるが、一部の施設では地区住民に対して十分な規模となっていない。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域介護の拠点であり、再編によって遠くまで行かなくてはならなくなる。</li> <li>● 地区の住民が交流する場が不足する。</li> <li>● 避難所としての機能が不足しないか心配。</li> <li>● 代替施設があるなら、再編して財政負担を減らす方がよい。</li> </ul> |
| 文化施設          | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供たちが集いやすいスペースとなっていなかったり、成人式や小学校の合同発表会を開催できるスペースがないなど、施設が利用ニーズとあっていない。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺の類似施設では代替できないものについては、新しく機能を確保する必要がある。</li> </ul>  |
| 図書館           | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学区によっては、子供たちが自転車で行くことができないため、送迎が必要であり利用しにくくなっている。</li> </ul>   |
| その他社会教育施設     | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用申請等が効率化されていないため、利用しにくくなっている。</li> </ul>  |
| スポーツ施設        | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 室内で子供たちが気軽に遊んだり、運動したりできる場が必要だが、現在はそのような利用をされていない。</li> <li>● 地域内に体育館が複数設置されているが、利用率が非常に低い施設や認知度が低い施設もある。</li> <li>● 一部の施設は老朽化が進んでいる。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難所としての機能が不足しないか心配。</li> <li>● 現在の利用者の活動の場がなくなる。</li> </ul> |
| レクリエーション・観光施設 | <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種教室などを目的に訪れる元気な高齢者の利用が多いが、レクリエーションとみなされて縮小されると、介護予防の観点から問題。</li> </ul>  |



| 施設分類             | ご意見  |
|------------------|--|
| 学校               | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒数がピーク時より大幅に減少しており、空き教室が発生しているが、地域の活性化や多世代交流の場として活用されていない。</li> <li>● 小、中学校の駐車場は、行事の際に不足しており、十分に確保されていない。</li> <li>● 少人数教育など多様な教育を選択できる仕組みになっていない。</li> <li>● 一部の施設は老朽化が進んでいる。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域にとって子供の存在は大切であり、規模に関わらず学校があることは重要。</li> <li>● 通学距離が長くなり、通学時の安全性の確保が現在より難しくなる。</li> <li>● 避難所としての機能が不足しないか心配。</li> </ul> |
| 幼保・こども園          | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心して子供を育てられる環境が整っていない。</li> </ul>   |
| 幼児・児童施設<br>(児童館) | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童館、学童保育、中高生の居場所などが不足している。</li> <li>● 駐車場が狭く、迎えの際に待ち合わせができないなど、利便性、安全性に問題がある。</li> </ul>  |
| 高齢者福祉施設          | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者向け施設は大沢野地区に集中しているが、今後は大久保地区で人口が増える。</li> <li>● 特定の利用者・コミュニティが利用していることが多く、新しい利用者が入りにくい状況がある。</li> </ul>   |
| 庁舎等              | <p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● どの部署に行けばよいかわからないなど、利用しにくくなっている。</li> <li>● 行政サービスセンターは規模が大きいので、コンビニエンスストアでの手続きやインターネットを活用してスペースを縮小すべき。</li> </ul>   |

### (3) 課題の解決策

公共施設の課題に対する解決策について、8つの視点<sup>3</sup>（地域の活性化を図る（拠点づくり、魅力づくり）、アクセス性を確保する、子育て環境を充実させる、学校教育環境を適正化する、安全性を確保する、将来負担を縮減する、必要機能を確保する、その他）に沿って、公共施設再編に関する解決策とその他の解決策に分類してまとめました。

図表 22 ワークショップ内で議論された公共施設の課題に対する解決策

| 視点                         | 公共施設再編に関する解決策  | その他の解決策  |
|----------------------------|--|--|
| 地域の活性化を図る<br>（拠点づくり、魅力づくり） | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な機能を複合化し、地域外からも人が集まり、にぎわいが生まれ、地域の活性化につながる施設にする。</li> <li>● 安心安全な場所であることを活かした防災拠点とする。</li> <li>● 空き教室を活用して多世代交流の場や子供たちを見守れる場をつくる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者が限られている施設は、多世代が利用できるように運用を変更する。</li> </ul>   |
| アクセス性を確保する                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再編をする場合はアクセス性に配慮した配置とする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自家用車以外のアクセス方法を確保する。</li> <li>● 十分な駐車場を確保する。</li> </ul>  |
| 子育て環境を充実させる                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園・保育所を統合する場合は、小学校に隣接させるなど保護者の利便性に配慮する。</li> <li>● 空き教室などを活用して柔軟性のある子供たちの居場所を確保する。</li> <li>● 子育て支援機能を充実させてワンストップサービスを受けられる施設を設置する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冬は雪が多く、夏は猛暑が続いているので、室内で子供たちが気軽に遊んだり運動できる場を確保する。</li> <li>● 学童に入れない子供や高学年の子供が過ごせる場をつくる。</li> </ul> |
| 学校教育環境を適正化する               | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化した施設は適切に更新する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通学時の安全性を確保する。</li> </ul>  |

<sup>3</sup> 8つの視点は、大沢野地域の皆さんからいただいたまちづくりや公共施設に関するご意見を整理、まとめることで設定しました。



| 視点        | 公共施設再編に関する解決策   | その他の解決策   |
|-----------|---|---|
| 安全性を確保する  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の規模を縮小しても、避難所としての機能は確保する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯や子供の見守りの観点から、防犯カメラを設置する。</li> </ul>                                      |
| 将来負担を軽減する | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺の代替施設を利用することで再編を進める。</li> <li>● 学校の余裕教室を活用して代替機能を確保する。</li> <li>● 多目的なスペースを導入して、様々な用途に活用する。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の民営化を進める。</li> <li>● 民間サービスを活用して、施設の規模を縮小する。</li> </ul>                  |
| 必要機能を確保する | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域内の施設で代替できない機能は新しく確保する。</li> <li>● 広い調理室を確保して若い層が利用するきっかけをつくる。</li> <li>● 複合施設に行けばすべての要件が済むような施設にする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一定規模のホールを作るのであれば、遠方の住民のアクセスも確保する。</li> <li>● 類似の民間サービスの導入も検討する。</li> </ul> |
| その他       | —   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集会施設の再編にあたっては、地区によって事情が異なるため、住民へのヒアリングに基づく判断・代替場所の確保が必要。</li> </ul>        |

## 4. 公共施設の再編方針

地域の皆さんからいただきました公共施設の課題、課題に対する解決策などのご意見を踏まえて、大沢野地域の公共施設の再編は、以下の方針で行っていきます。

### (1) 拠点となる施設等

#### 1) 地域の公共施設再編の基本的考え方

大沢野地域は国道 41 号沿線に居住と産業立地が進み、人口は今後も当該エリアに集中が続くとみられます。富山市のまちづくりの方針である立地適正化計画においても、大沢野地域の北側の国道沿線に、居住や都市機能を誘導していく方針を定めています。従って、地域の公共施設についても、より利用者の多い当該エリアに重点的に配置することとします。それ以外の地区においては、避難場所などの防災安全性の確保や地域コミュニティの維持などに必要な最低限の機能を残していくこととし、例えば、下夕北部、下夕南部地区については、小学校区が同一の細入地域の公共施設の利用を図るなど、大沢野地域だけでなく、隣接する地域とも連携し、最適な施設配置を検討します。また、再編にあたっては、地区住民の意見も踏まえて検討を進めます。

#### 2) 優先的に取り組むべき施策

大沢野行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアにおいて、老朽化した公共施設の建替を契機として、公共施設の複合化による集約を行います。地域の意見から、地域の文化を継承発展させる拠点づくり、子育て機能の集中配置、多世代の方々が集まることのできる場の確保、防災機能の確保等を基本的なコンセプトとしながら、これらの機能を集中配置し、地域全体の方が便利に利用できる場を確保するとともに、多くの人が集まって新たな活動を創出して地域の活力を高めていくことを目指していきます。

### (2) 公共施設の再編方針

#### 1) 地域コミュニティの維持

既存の地域コミュニティを維持していくために、公共施設をその重要な場として位置付けます。生涯学習の場、地域の会合のほか、避難や消防団などの防災活動の場として、一定の人口に応じて、集会施設など、人の集まることのできる空間を地区ごとに確保します。

これまでより、多世代の人々が多様なニーズで集まることのできる場を、できるだけ利用制約をなくして確保していくこととし、必ずしも独立した集会施設というハコモノにこだわらず、学校の余裕教室や空き家の活用など、安全面に配慮したうえで、空間の形態は柔軟に考えていきます。

また、新たに地域の中心に多世代交流拠点としての複合機能を設置します。地域の方々が数百人規模で一堂に会することのできる空間や様々な社会教育やコミュニティ活動が行える場を確保します。

大沢野生涯学習センターと大沢野公民館の集会機能に重複がみられることから、利用率などを勘案しつつ、規模や部屋の種類・数について整理統合を図ります。

## 2) 地域の活性化

複合施設において、地域の方々の多くが集うイベントの実施やマルシェなどの商業活動を行うことのできる場をソフト・ハード双方の観点から整備することにより、観光面や高齢者の生きがいづくり、農産物の地産地消につなげるなど、地域を盛り上げていくことを目指します。

同時に地域の活性化に寄与する民間施設の誘致を検討していきます。

## 3) 文化の振興

地域のお祭りなどを活かした文化コンテンツを伝承し、発展させる場としての機能を、地域の中心となる複合施設に整備します。複合施設においては、大沢野生涯学習センター、大沢野公民館、大沢野図書館の各機能を再編しつつ、行政サービスセンターやコミュニティ施設の機能とあわせ、多様な方々が気軽に集まることのできる拠点作りを目指します。

## 4) 少子化対策

地域の子育て環境の充実を図ります。子供の数は将来的に減少していくことから、今後は施設の統廃合を進め、機能を集中させることとし、集約された場でサービスを提供するようにしていきます。

子育て中のご家族の方が、子育て以外の行政サービス提供もワンストップで受けることができるように、また、多世代の方々が地域の子供の見守りができるように、複合施設に子育て機能を積極的に導入、集約化することで、サービス面を向上させることを検討します。

## 5) 利便性の確保

公共施設の配置に際しては、アクセスのしやすさ、利用のしやすさなど、その利便性が損なわれないように配慮していきます。また、複合施設や各地区の拠点へのアクセスについては、既存の交通手段を活かし、アクセスのしやすい配置とすることを基本とします。

地域の利用者の方々は車を使っての利用も多いため、各施設には駐車場を確保します。

将来的に学校を統合する場合には、スクールバスやタクシー等の通学のための交通手段を確保し、子供たちの通学に支障がない方策を検討します。

## 6) 安全性の確保

地震や水害、がけ崩れなどの自然災害に備え、避難拠点を地区単位で確保します。集会施設や学校、そのほかの公共施設のうち、耐震基準などの安全性が確保された施設を避難場所として指定します。

行政サービスセンターには、災害時にインフラ等の復旧を行う部署を配置していくことから、庁舎は災害に対してより堅牢なものとし、富山市本庁舎の防災拠点機能を一部果たせない障害等が発生した時に備え、災害時の指令発出や情報集約等を担う機能の確保を目指します。

## 7) 財源の確保

市全体の公共施設にかかる財源の縮減の必要性に鑑み、利用ニーズの少なくなった施設の複合化等による整理縮小、また建替えの際の面積の縮小についてはやむを得ないこととします。

今後は、専用のハコモノにこだわらず、既存施設の積極利用や、建替えよりも長寿命化を図るなど、維持管理費を低減していきます。建物の管理については、地域の皆さんと連携を図っていきます。

また、複合施設にすることにより施設面積を効率化していくとともに、管理する職員が横断的に働けるようにするなど、組織の見直しを図ることや、ソフト面の工夫により、利用率の向上を図ることも検討します。

## 5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

公共施設の再編方針の実現に向けて、地域の拠点となる施設の再配置を優先的に取り組むべき施策（優先整備施策）として、整備方針を策定します。

### （1）基本方針

#### 1) コンセプト

優先整備施策では、公共施設の再編方針のうち、地域コミュニティの維持に重点を置き、「多世代交流拠点」をコンセプトとします。

#### 2) 対象エリアの設定

大沢野地域は古くから国道 41 号沿線に居住と産業立地が進み、人口は今後も当該エリアに集中が続くとみられます。また、まちづくりの方針である立地適正化計画においても、地域の北部の国道沿線に居住や都市機能を誘導していく方針を定めています。

優先整備施策では、機能を集中的に配置して、利便性や機能性を高めることが求められることから、まとまった敷地を確保する必要があります。そこで公共施設の集積がみられ、公共施設の老朽化が進んでおり、敷地の確保もできる、大沢野行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアを活用することとします。

#### 3) 機能

公共施設の再編方針を踏まえ、優先整備施策で核とする機能は以下のとおりです。

- ・ 行政機能  
現窓口サービスや業務内容を維持します。  
他の機能との複合化により、より利便性が高まるような工夫を行います。
- ・ ホール機能  
地域の方々が集まることのできる一定規模の多目的スペースを確保します。
- ・ 商業機能  
地元産品や飲食など地域外からの来訪者への物販等について事業性を勘案して検討します。  
事業者の提案を積極的に募集し、地域内外の方々が活用できる事業を検討します。
- ・ 防災機能  
富山市本庁舎の防災拠点機能を一部果たせない障害等が発生した時に備え、災害時の指令発出や情報集約等を担う機能の確保を目指します。

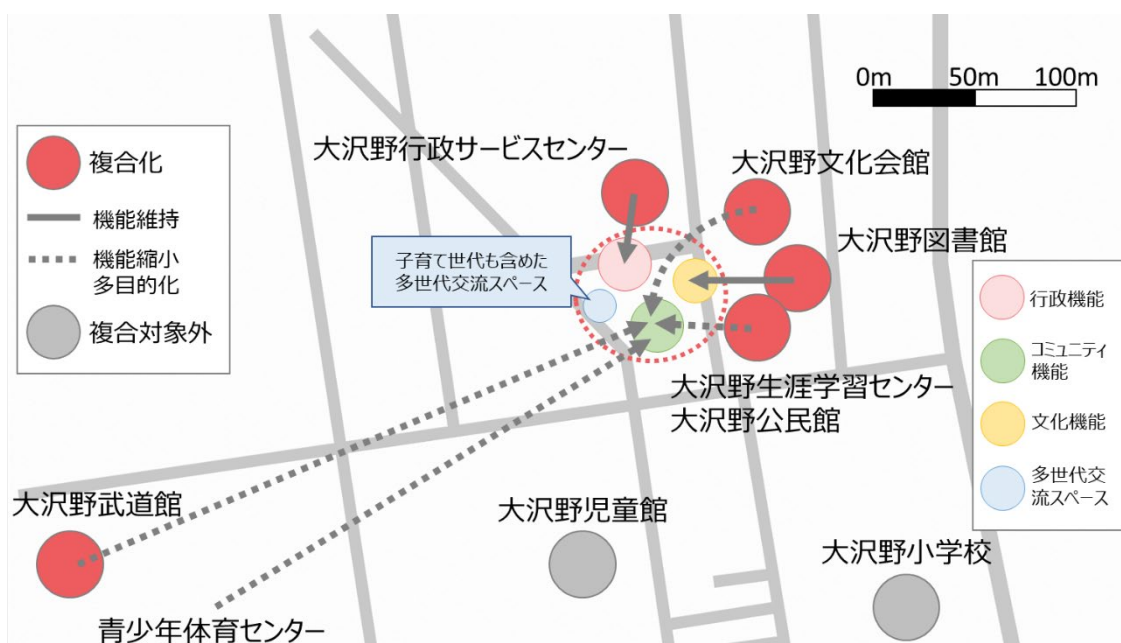
## (2) 整備方針

### 1) 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

基本方針を踏まえ、図のような公共施設の再編を行います。

- ・ 大沢野行政サービスセンター、大沢野文化会館、大沢野図書館、大沢野生涯学習センター、大沢野公民館、大沢野武道館、青少年体育センターの機能を持つ複合施設を整備します。
- ・ 大沢野行政サービスセンターの機能は維持しますが、施設規模は縮小します。
- ・ 大沢野文化会館、大沢野武道館、青少年体育センターの機能は多目的スペースとして確保します。
- ・ 子育て世代も含めた多世代が交流できるスペースを確保します。
- ・ 行政サービスセンターには、災害時にインフラ等の復旧を行う部署を配置していくことから、庁舎は災害に対してより堅牢なものとしします。
- ・ 地域の皆さんに親しまれ、誇りを持てる外観・デザインとなるように設計します。

図表 23 優先整備施策の概略図



## 2) 期待される効果

優先整備施策の実施により、公共施設の再編方針が達成されるか評価したところ、すべての項目において、現状より向上することが期待されます。

図表 24 再編方針別の評価項目と評価

| 公共施設の再編方針 | 評価項目  | 評価  |
|-----------|---|---|
| コミュニティの維持 | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティを維持するための機能が確保されるか。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>多機能化されたコミュニティ施設が新規複合施設として整備・維持される。</li> <li>様々な用途で使用可能な多目的のスペースが確保される。</li> </ul>                          |
| 地域の活性化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域外から人を呼び込める機能が確保できるか。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>物産品や飲食サービスなど地域外から訪れる方々への物販スペースの確保を検討する。</li> <li>大沢野ならではの特性を活かした学び・遊びの場を確保することで、独自性のある施設が整備される。</li> </ul> |
| 文化の振興     | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化活動を伝承する場が確保されるか。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々が一堂に会することのできる一定規模のスペースが確保され、文化活動の場が維持される。</li> </ul>  |
| 少子化対策     | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代・子供に使い勝手のよい施設が維持されるか。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援機能は地域内に維持される。</li> <li>子育て世代や子供も楽しめる地域の学びの場が確保される。</li> </ul>   |
| 利便性の確保    | <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通とのアクセス性が改善されるか。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道41号沿線に複合施設が整備されるため、利便性は維持される。</li> </ul>   |
| 安全性の確保    | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性は改善されるか。</li> <li>避難所として想定する場合、十分な機能が確保されるか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性に課題のある施設が解消され、安全性が確保される。</li> </ul>   |
| 財源の確保     | <ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政負担の軽減に寄与するか。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>複合化を行うことで面積が効率化され、コストの縮減につながる。</li> </ul>  |

## 6. おわりに

本地域では、「5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」で定めたとおり行政サービスセンターを核とした地域の活動拠点となる新規複合施設の整備を目指します。また、その際には、ファシリティマネジメントの視点をもって、公共施設の複合化によって安全性と必要な機能を確保しつつ施設総量の縮減を図り、整備費、維持管理運営費等の軽減を図るとともに、複合化によって生まれる跡地について、民間事業者のノウハウを活用しながら、地域の活性化や利便性の向上、地域におけるまちづくりの推進を図ることにします。

優先して取り組むべき個別具体施設の対象とならない公共施設については、今後5年ごとに策定していくアクションプランにおいて、建物老朽化度や利用状況、コスト状況等の評価により課題のある施設として抽出された時期にあわせ、集会施設、スポーツ施設、学校等の施設用途別の視点と市域・地域・地区といったエリアレベル別の視点から客観的に方針決定を行っていきます。その際には、特に地域・地区レベルの施設については、より地域の意見を反映する必要があることから、本計画で示した「地域コミュニティの維持」や「地域の活性化」といった7つの視点からの再編方針を優先して、具体的な再編整備方策を決定することとします。

本計画は、地域の実情やニーズを踏まえ、地域住民の皆さんが主体となって、地域の公共施設等の再編を具体的に進めていくために定めた基本方針であります。市でも、こうした地域住民の思いを大切にしつつ、公共施設の再編を単なる床面積の縮減だけを目的とするものではなく、地域のまちづくりの契機とし、大沢野地域が抱えている人口分布と公共施設、公共交通機関の配置の不一致や、地域文化の希薄化などの課題解決に向けて、長期的な視点をもって住民の皆さんと一緒に取り組みを進めてまいります。

### 【参考文献】

大沢野町史編さん委員会（2005）『大沢野町史』大沢野町

※「天皇の退位に関する皇室典範特例法」が平成31年4月30日に施行されますが、本計画の作成時点においては、「元号を改める政令」が公布されていないことから、同日以降の表記についても、便宜上「平成」の元号を使用しています。



# 地域別実行計画

## -大沢野地域-

平成 31 年 3 月

編集・発行 富山市企画管理部行政管理課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL 076(431)6111 (代表)